

令和 2 年度医療機関再編統合等支援事業計画書

1. 整備事業の目的及び地域医療構想との関係

川西市内にある市立川西病院（昭和 58 年開設）、協立病院（昭和 55 年開設）は、開設当時より急性期医療を担う医療機関として運営してきたが、開設から長期間が経過し、病院スタッフ確保の問題、病院施設の老朽化など、経営上の課題に直面していた。

当該施設が所在する阪神医療圏の準圏域（阪神北）では、直近の病床機能報告である H30 年度時において、兵庫県地域医療構想で掲げる 2025 年の必要病床数に対して、急性期病床は 998 床、慢性期病床は 166 床が過剰、高度急性期病床は 296 床、回復期病床は 637 床が不足となっている状況であり、急性期は高度急性期もしくは回復期への転換への対応が求められている。また、川西市には市内に高度急性期病院がない状況であり、早急に改善する必要があった。

このような状況の中、将来にわたり、市民の命と健康を守り、安心して安全な医療を提供していくためには、小児・周産期・救急などの政策医療に加え、HCU や SCU といった重症系病棟を備えた高度な医療を担う公立病院が必要であると考え、（仮称）川西市立総合医療センター基本構想を策定した。将来の医療圏域での安定した医療経営環境を確保するために、市立川西病院と協立病院を統合し、新病院を市の中心部に整備し、医療機関の再編・ネットワーク化を推進する。また、新病院は、市域全体の基幹病院としての役割を果たすとともに、市内に不足している高度急性期病院としても一定の役割を担うことで、医療の圏域内完結率の向上を図っていく。

2. 再編統合等関係医療機関の概要

申請者医療機関

開設者（設置者）		施設名		所在地	
川西市長		市立川西病院		川西市東畦野 5 丁目 2 1 - 1	
施設の規模及び構造					
（敷地面積）		14,936.06 m ²		（自己所有地、借地の別）自己所有	
（建物構造）鉄筋コンクリート造 地下 1 階 地上 5 階 塔屋 1 階		（建築面積）		3,281.14 m ²	
		（延べ面積）		14,540.10 m ²	
病床機能（前年度病床機能報告の稼働病床）					
区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
稼働病床	床	235 床	床	床	235 床

相手先となる医療機関

開設者（設置者）		施設名		所在地	
医療法人 協和会		協立病院		川西市中央町 1 6 - 5	
施設の規模及び構造					
（敷地面積）		6,357.47 m ²		（自己所有地、借地の別）自己所有	
（建物構造）鉄筋コンクリート造地上 5 階建、 塔屋 1 階、新館鉄骨 ALC 造地上 3 階塔屋 1 階		（建築面積）		2,403.26 m ²	
		（延べ面積）		8,185.98 m ²	
病床機能（前年度病床機能報告の稼働病床）					
区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
稼働病床	床	313 床	床	床	313 床

※関係医療機関が 2 つ以上ある場合は、記入欄を追加すること

3. 再編統合等整備計画

(1) 整備区分 ※該当する区分に○

	新增改築	改修	改装	医療機器
① 医療機関の統廃合	○			○
② 病床機能の集約				

※医療機器の整備については、病床機能の転換が伴う場合のみ対象

(2) 整備施設の概要（見込）

開設者（設置者）	施設名	所在地
川西市長	川西市立総合医療センター	阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業地内（9街区 2-1、9街区 2-2、9街区 3-1、9街区 3-2-1、9街区 3-2-2、廃道地）
施設の規模及び構造		
（敷地面積）	11252.44 m ²	（自己所有地、借地の別） 自己所有・一部借地
（建物構造） 鉄骨造（RCST＋一部S造）9階建	（建築面積）	約 6,970 m ²
	（延べ面積）	約 36,500 m ²

(3) 整備計画 ※該当する箇所にもみ記入

①医療機関の統廃合

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
統合前 病床総計	床	548 床	床	床	548 床
統合後 病床総計	100 床	305 床	床	床	405 床
差引	100 床	△243 床	床	床	△143 床

※統合前病床総計は、「2. 再編統合等関係医療機関の概要」の関係する医療機関の稼働病床数の合計を記入

※統合後病床総計は、新たに整備する施設の病床数を記入

②病床機能の集約

病床機能の集約に関連する医療機関の病床数の総計

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前 病床総計	床	床	床	床	床
集約後 病床総計	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床

※集約前病床総計は、「2. 再編統合等関係医療機関の概要」の関係する医療機関の稼働病床数の合計を記入

(ア) 集約する医療機関

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前	床	床	床	床	床
集約後	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床
＜集約に伴い整備する病床数＞				期	床

(イ) 集約される医療機関

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
集約前	床	床	床	床	床
集約後	床	床	床	床	床
差引	床	床	床	床	床

(4) 整備事業の内容

事業期間	事業期間	着工： 令和2年10月1日 ～ 竣工：令和4年5月1日
事業費	総事業費	24,480,729千円
	当該年度事業費	7,518,487千円

4. 事業費及び補助申請(見込)額

総事業費 (対象経費)	建物及び附属設備の整備額		基準額	補助見込額
	建物及び附属設備の整備額	医療器具等の購入額		
24,480,729千円 (18,740,316千円)	18,680,729千円 (14,740,316千円)	5,800,000千円 (4,000,000千円)	2,194,825千円	1,097,412千円

※基準額は対象病床数×整備区分ごとに定めた基準単価
 ※補助見込額は対象経費と基準額の低い額の1/2相当額

【基準額内訳】
 建物整備
 5,365千円×405床=2,172,825千円
 医療機器購入
 22,000千円

(公 印 省 略)
神北(宝健)第1759号
令和2年9月2日

健康福祉部長 様

兵庫県阪神北県民局長
(宝塚健康福祉事務所)

令和2年度「病床機能転換推進・医療機関再編統合等推進事業補助金」
に係る事前協議書について（進達）

標記について、「医療機関再編統合等支援事業」の事前協議書の提出がありました。
つきましては、阪神南地域医療構想調整会議及び阪神北地域医療構想調整会議において
協議した結果、適当と認められますので進達します。

記

1 事前協議書の提出があった医療機関
川西市立総合医療センター

2 地域医療構想調整会議における協議結果

(1) 阪神南地域医療構想調整会議

- ① 日時 令和2年8月25日（火）13:30～15:30
- ② 会場 阪神南県民センター 別館2階 大会議室（尼崎総合庁舎）
- ③ 結果 阪神南地域医療構想調整会議として、適当と認める。

(2) 阪神北地域医療構想調整会議

- ① 日時 令和2年7月31日（金）14:00～15:10
- ② 会場 阪神健康交流センター 阪神シニアカレッジ大教室
- ③ 結果 阪神北地域医療構想調整会議として、適当と認める。

3 進達書類

- (1) 事前協議書（事前協議依頼文、様式1-1、様式1-2、様式2）
- (2) 整備前後の標榜診療科、施設の平面図、事業費の根拠資料
- (3) 地域における合意を証する書類

<問い合わせ先>

宝塚健康福祉事務所 企画課 担当：木原
〒665-0032 宝塚市東洋町2番5号
TEL 0797-61-5172（直通）／ FAX 0797-61-5188
E-mail Aoi_Kihara@pref.hyogo.lg.jp